

# 競輪・オートレースを巡る最近の状況について

- ① 東京オリンピック延期を踏まえた250KEIRIN（仮称）の状況
- ② 車両情報システムにおけるシステム障害について

令和2年6月15日



公益財団法人 **JKA**  
Japan Keirin Autorace foundation

# ① - 1 東京オリンピック延期を踏まえた250KEIRIN（仮称）の状況

競輪の誕生から70年余が経過し、近年ではお客様の高齢化、新規お客様獲得の伸び悩みが最大の課題となっている。

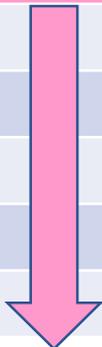
競輪は2000年シドニー大会からオリンピック種目として採用されており、競輪選手が国際大会で戦い結果を残すことにより、スポーツとしての認知度も上がり、スポーツ性を訴求するPRも行い新規お客様獲得を行ってきた。

更に、千葉競輪場が自転車競技の国際標準である、屋内250m走路に生まれ変わることを機に、新たな商品として250KEIRIN（仮称）を作り上げ、新規お客様獲得のためのキラーコンテンツとすべく、準備を進めている。

2021年に延期となった東京オリンピックで更に高まるスポーツ競技への関心を最大限活かし、スポーツ愛好者へ向けてWEBを中心としたPRを効果的にを行い、特に若年層の新規お客様獲得を目指す。



年月	当初予定	新型コロナウイルスの影響によるスケジュールの見直し
2020年7月	東京オリンピック	1年延期
	記者発表	
2020年12月	(仮称) 千葉公園ドーム完成	ゼネコンの工期3ヶ月遅延
	施設お披露目	
	前あおりPR (WEB中心)	
2021年3月	250KEIRIN (仮称) スタート	(仮称) 千葉公園ドーム完成
	お客様拡大PR (WEB中心)	記者発表・施設お披露目
		前あおりPR (WEB中心)
2021年5月		250KEIRIN (仮称) スタート
		お客様拡大PR (WEB中心)
2021年7月		東京オリンピック
		お客様拡大PR (WEB中心)



## ①－２ 東京オリンピック延期を踏まえた250KEIRIN（仮称）の状況

課題項目	実施済み	今後整備予定
法令、規程等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設告示（経済産業省）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興法人の業務規程</li> <li>・実施条例、実施規則、競技規則</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧千葉競輪場（500m）解体済み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）千葉公園ドーム（250m）建設中（千葉市）</li> <li>・2021年3月完成予定</li> </ul>
システム関連		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投票システム（千葉市）、競技情報システム（JKA）は2020年11月末完成に向け開発中</li> </ul>
選手養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現役選手に対する250講習会を2020年6月より実施中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度内に現役選手約600名に対する講習を完了する予定（JKA）</li> <li>・候補生は養成所カリキュラムとして250訓練を実施する予定（JKA）</li> </ul>
制度関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・250KEIRIN（仮称）のトーナメント表及び賞金が決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催運営に関する諸制度については、2020年12月までに決定する予定</li> </ul>
広報宣伝・場内演出		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロゴマーク、ユニフォームの製作</li> <li>・新たな映像技術の導入、競技情報の提供等に関する調査研究の実施（JKA）</li> </ul>

# ①-3 東京オリンピック延期を踏まえた250KEIRIN（仮称）の状況

## トラックパーティー、6 DAYS

250KEIRIN（仮称）は、自転車競技と同様な競走路、ルールで実施されるため、既存のお客さまもさることながら、日本国内、さらには世界の自転車競技に興味のある層を取り込むことが課題である。また、日本や世界で行われている自転車競技のイベントを鑑みると、様々な層を取り込むことも期待されている。

### ○トラックパーティー

2011年に行った第1回に続き、250KEIRIN（仮称）のテストの場として、伊豆ベロドロームにて、トラックパーティーを2018年の5月と10月の2回開催した。伊豆ベロドロームの収容人数が3,000名のところ、連日満員となる来場があり、新たな映像や音及び光を駆使した演出なども行い、大盛況となった。

### ○6 DAYS

世界では自転車競技の人気の高い。毎年、ヨーロッパの各地で開催されている6 DAYSは、自転車競技とエンターテインメントがミックスされた、伝統的な冬のイベントとして楽しまれている。

## 映像、音、光を駆使した新たな競技の演出

250KEIRIN（仮称）では、自転車競技に興味のある新たなお客さま、インターネットで車券を購入するお客さまをターゲットとしたインターネット放映等、迫力のある映像の提供、音や光を駆使した新たな競技の演出の検討を行っている。

### ○小型カメラの車載映像

自転車に取り付けた小型カメラの映像をリアルタイムで配信し、選手目線での迫力ある映像を提供する。

### ○180度カメラ

広画角の映像で、レースの迫力と競技場の臨場感をお客さまに提供する。

### ○音や光を駆使した演出

走路面をライトアップすることによりレースの見やすさを向上させ、レーザー光線やプロジェクションマッピング等を駆使し、インドアならではの多彩な光の演出を行う。また、インドア効果として、大音量での迫力ある演出も可能となる。



▲トラックパーティー  
2018 in AUTUMN



▲6 DAYS Berlin



▲小型カメラの車載映像



## ① - 4 日本競輪選手養成所に250mトラック（JKA250）の新設【JKA】

現在、250KEIRIN（仮称）の実施が検討されていることから、選手候補生の訓練場所として、伊豆市の日本競輪選手養成所敷地内に屋内型板張り250mトラックである「JKA250」を建設した（2019年7月竣工、訓練開始）。また、自転車競技の国際大会は主に屋内型板張り250mトラックで行われている。世界に通用する競輪選手の育成は、競輪界の発展の喫緊の課題であり、「JKA250」は、2020年東京オリンピックへ向けた自転車競技ナショナルチームの強化事業への協力をはじめとする自転車競技の更なる振興・発展のためにも活用されている。



▲ JKA250

# ①-5 東京オリンピック 自転車トラック競技出場選手について

昨年11月から本年3月にかけて、2019-2020年シーズンの自転車競技大会が開かれ、出場した日本代表選手の成績によりオリンピック出場枠が決まり、本年6月3日に出場する選手が決定。出場種目と出場選手は以下のとおり。①氏名②年齢③出身地④通算勝利数⑤通算優勝回数⑥主なタイトル⑦生涯獲得賞金

短距離種目  
男子ケイリン・  
スプリント



日本競輪選手会

ワケト ヲウ

①脇本 雄太  
②31歳／③福井県  
④265勝／⑤43回  
⑥第73回日本選手権競輪(松戸)【完全優勝】／⑦5.9億円

短距離種目  
男子ケイリン・  
スプリント



日本競輪選手会

ニタ ヲウダイ

①新田 祐大  
②34歳／③福島県  
④303勝／⑤50回  
⑥第62回オールスター競輪(名古屋)／⑦9.6億円

短距離種目  
女子ケイリン・  
スプリント



日本競輪選手会

コバヤシ ヲウ

①小林 優香  
②26歳／③佐賀県  
④192勝／⑤62回  
⑥ガールズグランプリ(京王閣)／⑦0.7億円

中距離種目  
男子オムニアム



日本競輪選手会

ハシモト イチヤ

①橋本 英也  
②26歳／③岐阜県  
④29勝／⑤6回／  
⑦0.05億円

中距離種目  
女子オムニアム・  
マディソン



筑波大学大学院

ヒガチ ヲウミ

①梶原 悠未  
②23歳／③埼玉県

中距離種目  
女子マディソン



日本写真判定(株)

ナカムラ トモチ

①中村 妃智  
②27歳／③千葉県

## 2019-2020年シーズンのナショナルチームの主な戦績

### アジア自転車競技選手権大会-トラック

金メダル5個【短距離2個 中距離3個】  
銀メダル3個【短距離2個 中距離1個】  
銅メダル4個【短距離3個 中距離1個】

### 2019-2020トラックワールドカップ 第1戦～第6戦

金メダル4個【短距離2個 中距離2個】  
銀メダル1個【短距離1個】  
銅メダル5個【短距離4個 中距離1個】

### UCIトラック世界選手権 ベルリン大会

金メダル1個【中距離】  
銀メダル1個【短距離】

## ①－6 東京オリンピック延期を踏まえた250KEIRIN（仮称）の状況

### まとめ

新型コロナウイルスの影響により、ゼネコンの工期に遅延が生じ、（仮称）千葉公園ドームの完成が遅れることから、250KEIRIN（仮称）のスタート時期及びそれに向けた準備スケジュールを見直すとともに、東京オリンピックが1年延期となったことに伴うPR戦略の見直しを行う。

今後は、法令、規程等の改正を最優先として、250KEIRIN（仮称）の運営に関する諸制度を年内に決定し、選手及び審判員等執務員の育成を行いつつ、施設完成とともに速やかに開催が開始できるよう準備を進める。



▲旧千葉競輪場が取り壊され更地となった状態



▲建設中の新千葉競輪場  
2020年5月27日現在



▲JKA250で競走訓練中の  
117期選手候補生  
(2019年訓練より)



▲JKA250における  
出場希望選手への講習会

## ② 車両情報システムにおける2019年10月3日から4日の間にかけて発生した障害について

1. 主な事項		日付	時間	備考
①	障害発生	2019年10月3日(木)	午前1時27分	
②	中間報告	2019年10月28日(月)	————	再発防止策策定
③	最終報告	2020年1月14日(火)	————	〃

2. 障害の内容		原因	事象
①	10月3日(木)	システム開発事業者作成の業務マニュアルとシステム仕様の不一致による。	選手あっせんに係るデータの重複が発生し、夜間にシステムが自動で行う定例処理(以下、「夜間定例処理」という。)が異常終了した。
②	10月4日(金)	原因となったシステムは、他社が構築したシステムを現行のシステム開発事業者が承継・再構築したシステム(ポーティング資産)であった。そのため、システム開発事業者が詳細な仕様・構成を正しく理解していない中で試行錯誤を繰り返し、正しい手順での復旧作業を行えなかったこと。	データに誤りが生じたままだったことから、翌日の夜間定例処理においてデータ不整合を招いた。

### 3. 再発防止策について

内容

今回判明した原因を踏まえ、以下の再発防止策を講じた。

①	システム改修 (2020年1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害発生時、異常箇所の発生範囲を特定する時間の短縮を図るためのエラーメッセージ機能の改修を行った。</li> <li>・ 異常の原因を事前に検知する機能を開発した。(データ重複のチェック機能)</li> </ul>
	システムチェック機能の開発 (2020年3月)	
②	改訂マニュアルに基づく研修の実施 (2020年2月)	障害の原因となったマニュアルを総点検の上、改訂し研修を実施した。

## ② 車両情報システムにおける2019年10月3日から4日の間にかけて発生した障害について

3. 再発防止策について		内容
③	危機管理体制の機能強化 (2020年3月)	迅速・正確に情報発信を行うため連絡体制を再整備するとともに、障害訓練計画を再策定して実施した。
4. その他		内容
①	障害後の対応状況	全輪協から提出された損害賠償請求資料は、保険会社代理店を通じて、保険会社審査部門に提出済。
②	売上見込額 (全輪調べ)	約34億円(下記の9競輪場で、中止となった189レース分)

### ■ 2019年10月3日、4日のシステム障害に係る開催中止日数及びレース数等

	競輪場名	中止日数	1日あたり レース数	中止 レース数	開催グレード	開催施行者算出 売上損失見込額 (全輪調べ)
1	函館	3	11	33	FI ナイター	1,032,672,700
2	西武園	1	11	11	FI	323,102,500
3	伊東温泉	2	7	14	FII ミッドナイト	385,337,000
4	豊橋	1	11	11	FI	378,853,600
5	富山	3	12	36	FII ガールズ	221,699,900
6	玉野	3	10	30	FII ナイター	388,344,300
7	小倉	1	7	7	FII ミッドナイト	156,769,300
8	武雄	3	12	36	FII ガールズモーニング	192,496,200
9	別府	1	11	11	FI ナイター	359,296,300
	合計	18	-	189		3,438,571,800

※ 10月3日～6日の開催を予定していた千葉市営松戸GⅢについては、10月5日初日に順延しすべての競走を実施したため、中止日数及びレース数には含まず。